

協約・協定締結拒否の態度を改めよ！  
運輸系統社員の運用変更、新人事・賃金制度を見直せ！  
乗務員の再教育あり方を改めよ！  
落石対策の強化、ブレーキディスクの亀裂対策を実施せよ！  
働きがいのある職場を！

## 2006年度協約改訂交渉スタート！

本部は8月23日、「2006年度協約改訂交渉」第1回団体交渉を開催しました。

### 【J R 東海労要求主旨説明】

J R 東海労は「新しい人事・賃金制度等」などについて提案を受け団体交渉を積み重ね、その交渉経過を踏まえ妥結することを通告してきた。しかし会社は一方的に協約の締結を拒否している。この態度は労働組合軽視、不当労働行為である。

運輸系統社員の運用変更の実施後1年4ヶ月経過し、私たちが危惧し指摘していた問題が多方面にわたり発生している。

基本的労使関係の確立、運輸系統社員の運用変更等の見直し、新人事・賃金制度の見直し、安全確立、労働条件・職場改善を柱とした55項目の要求を申し入れるので誠意ある回答をすること。

### 【会社の基本的な考え方】

先般、貴組合より申し入れをいただき、本日より本年度の協約改訂交渉を開始することとなりました。

日本経済や当社を取り巻く環境ですが、8月の内閣府の月例経済報告によれば、企業部門の好調さが家計部門へ波及しており、国内民間需要に支えられた景気回復が続くと見込まれています。しかしその一方で、原油価格の動向が内外経済に与える影響等には留意する必要がある、とされています。中東の政情不安もまた、景気回復の懸念材料となっているため、楽観視はできません。

こうした状況の下、今回の協約改訂交渉においても幅広く議論をしていきたいと考えています。

働きがいのある労働条件、生活条件確立に向け、団体交渉強化とともに職場からのたたかいを強化しよう！